

Liveオンライン開催（Zoom使用）

新規開催！

基礎から学ぶ！ SCMにおけるオペレーションズ・リサーチの 活用セミナー ～物流ネットワークと拠点最適化を事例として～

参加対象

- 製造業、物流業、流通業等においてロジスティクス・SCMに関する計画立案や意思決定に携わる方
- コンサルティングやシンクタンク等において、企業や団体におけるロジスティクス・SCMに関する計画立案や意思決定の支援に携わる方
- ロジスティクス・SCMに関する計画立案を支援する情報システムやソフトウェアの開発に携わる方

【オペレーションズ・リサーチ(OR)とは？】

シミュレーション等によって企業等の経営や操業の状況を再現(モデル化)し、それを用いて実際の問題解決に役立てる一連の方法

開催日

2022年3月15日(火)
13:30～17:30

講師

- 伊倉 義郎 氏
(株)サイテック・ジャパン 代表取締役社長
東京工業大学 講師
- 高井 英造 氏
マネジエンス 代表

1. SCMとORの概略

サプライチェーン・マネジメントにおける
オペレーションズ・リサーチ活用の必要性

2. SCMにおけるORの 適用分野と手法の解説

3. 最先端企業でのORを活用した 最適化プロジェクト事例の紹介

4. グループ演習

ORの具体的な活用方法

～物流ネットワーク最適化を事例として～

物流拠点ネットワークの最適化を題材として、ORを活用した計画立案・意思決定を行うグループ演習を実施する予定しています。

参加のすすめ

～勤と経験からの脱却～

市場における不確実性の増加や企業活動のグローバル化に伴い、柔軟な供給網の構築やリスク管理、コストの合理化、省エネルギー化等への対応が求められています。これらの問題・課題を解決するためには**サプライチェーン・マネジメント(SCM)**を経営課題に挙げ、サプライチェーン上の様々なデータを活用した計画立案や意思決定を行うことが重要かつ**効果的**です。

SCMにおける多種多様な課題に対して広範なデータを活用した意思決定を行うためには、「勤と経験」に頼ることには限界があり、**数理科学的な分析と最適化の実行の方法論である「オペレーションズ・リサーチ(OR)」**の活用が必要であると考えられます。

ORの進歩と普及は、これまでもロジスティクスやサプライチェーンの進化・最適化に寄与しており、ビッグデータの普及や輸送機器・倉庫の自動化といったハードウェアの進歩と並んで大きな役割を果たしています。

本セミナーでは、SCMの課題解決に資するORについて、基礎的な考え方を学習するとともに、拠点配置や輸送モードを考慮する物流ネットワーク最適化を題材として、ORの具体的な活用方法について解説いたします。

※諸事情によりプログラムが変更になる場合がございます。ご了承ください。

Liveオンライン

- 集合型で行うセミナーと同水準の質の高いセミナーをお届けします。
- 音声やチャットでの応答を行い、ライブならではの臨場感のある講義を行います。
- テキストは事前に郵送にてお届けし、手元にテキストを控えながらご受講いただけます。
- 1時間に1回の適度な休憩により受講の集中力が高まります。

基礎から学ぶ！SCMにおけるオペレーションズ・リサーチの活用セミナー

～物流ネットワークと拠点最適化を事例として～

講師プロフィール

伊倉 義郎 氏

(株)サイテック・ジャパン 代表取締役社長／東京工業大学 講師

東京大学理学部物理学卒業後、東京大学工学系研究科情報工学科修士、コーネル大学工学部インダストリアル・エンジニアリング・アンド・オペレーションズ・リサーチ学で組み合わせ最適化でのPh.D.を取得。パシフィック・ガス・アンド・エレクトリック社(サンフランシスコ)、AT & Tベル研究所(ニュージャージー)主任研究員等を経て、1993年米国法人SAITECH, inc.を設立、その後日本人(株)サイテック・ジャパンを設立。日米で多くのサプライチェーンやロジスティックの最適化プロジェクトやソフト開発に従事。米国INFORMSの実務研究部会主査や日本OR学会理事。東京工業大学、慶応大学、南山大学で非常勤講師。米国OR専門誌やIEEEなどに論文を20本、日本OR学会誌にORの実務紹介記事「エデルマンの勇者たち」を連載、他、著書「物流アルゴで世が変わる」(共著:高井英造氏)。

高井 英造 氏

マネジエンス 代表

コロンビア大学工学部大学院(経営科学)修了(M.S、1965)。三菱石油(株)数理計画部、エネルギー調査部長を経て、静岡大学文学部経済学科教授(経営情報論)、多摩大学大学院客員教授、文部科学省科学技術政策研究所科学技術動向研究センター客員研究官等を歴任。日本オペレーションズ・リサーチ学会フェロー(元副会長)、生産性本部APICS日本代表部顧問、CSCMP、米国経営工学会(INFORMS)、日本経営工学会、経営情報学会、物流学会等正会員。著書「問題解決のためのオペレーションズ・リサーチ入門(共著)」(日本評論社)ほか。論文「ロジスティクス高度化へのオペレーションズ・リサーチの役割」科学技術動向No91文科省(2008) 他。

参加申込規程

オンラインセミナーへのご参加にあたり

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会(以下「主催者」という)が定める「JILSオンライン研修受講にあたってご了承いただきたいこと」(URL <https://bit.ly/346E1Ag>)と、以下の事項の内容をお読みいただき、内容についてご理解、ご承諾のうえお申込みください。

- 以下の条件を満たしたPC等をご準備ください。
 - ・Zoomクライアントをインストールしていること。
 - ・マイクの使用ができること。
 - ・Microsoft Office(Word・Excel・PowerPoint)が使用できること。
- 本セミナーの受講者は申込時に登録した受講者に限定し、1人1台のデバイスでご参加ください。
- 主催者に起因する事由や不測の事態により通信が中断した場合は、録画した本セミナーを期間限定で配信します。
- 受講者に起因する事由により通信が中断した場合は、主催者は責任を負わないものとします。
- 本セミナーの録画、録音、撮影は禁止します。
- 受講者により運営を妨げるおそれのある行為がある場合、対象者の受講を中止させることがあります。

参加料

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会会員

参加料 27,500円 (税込/1名)

会員外

参加料 38,500円 (税込/1名)

参加定員

30名 ※最少催行人数 10名

参加申込方法

WEBの場合

当協会ホームページの本プログラムのページよりお申し込みください。



※当協会のホームページは www1.logistics.or.jp または「JILS」で検索してください。

FAXの場合

下記の申込用紙に必要事項を明記のうえ、FAXにて事務局までお申し込みください。

参加料支払い方法

- WEB請求書で請求いたします。
- WEB請求書は原則として参加者のE-mail宛に送付いたします。それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。
- WEB請求書が届け次第、指定の銀行口座にお振込みください。
- お支払いは、原則として開催前日までにお願いたします。(開催後になる場合は、参加申込書の支払予定日欄に明記してください。)
- 振込手数料はお客様にてご負担願います。

【キャンセル規定】

開催7日前～前々日(開催日初日を含まず起算)……参加料(消費税を除く)の30%
開催前日および当日………参加料(原則として消費税を除く)の全額
※参加申込をキャンセルする場合は事前に問い合わせ先にお申し出ください。

【問い合わせ先】

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 JILS総合研究所
東京都港区海岸1-15-1 スズエビイデアム3階
E-mail: education@logistics.or.jp

参加申込書

参加申込FAX

03-3436-3190

基礎から学ぶ！SCMにおけるオペレーションズ・リサーチの活用セミナー

開催日:2022年3月15日(火)

フリガナ 会社名・事業所名		<input type="checkbox"/> 協会会員	参加料のお支払いが開催後になる場合は明記ください。	
		<input type="checkbox"/> 会員外	支払予定日: 月 日 予定	
参 加 者	フリガナ 氏名	所属・ 役職名		
	所在地: 〒	—	TEL. ()	-
		都道 府県	FAX. ()	-
	E-mail.			
協会への連絡事項		受付日	請求日	請求書NO

個人情報の取り扱いについて

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー(<http://www1.logistics.or.jp/privacy.html>)をご覧ください。
なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本講座に関する確認・連絡・受講者名簿の作成、および当協会主催の関連催し物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

BA2169